

## 平成 29 年度 避難所開設・運営研修の結果について

近年では、地震、集中豪雨、大型台風の襲来など、これまで想定していなかった災害が全国各地で多発しており、災害はいつ・どこで発生するか分からない状況となっています。

市では、このような状況を受け、今年度は例年開催をしております総合防災訓練を一旦休止して、より実践に即した訓練が必要であることから、熊本地震でも課題となった避難所の適正な開設、運営を目的とした避難所開設・運営研修(訓練)を8月20日(日)、27日(日)に開催したものです。

### 1. 日時及び参加者

平成29年8月20日(日)118名…祇王学区、篠原学区、中里学区、兵主学区

8月27日(日)148名…野洲学区、北野学区、三上学区

いずれも午前8時30分～12時00分(体験研修希望者は13時頃まで)

※自主防災リーダーについては、原則上記の日程にて参加いただきました。

### 2. 研修対象者

自主防災リーダー、社会福祉協議会職員、市内県立学校教職員、市内小・中学校教職員、県立野洲高等学校生徒、消防団員、市職員

### 3. 場 所

(1) 研修会場：滋賀県立野洲高等学校(図書室、体育館等)

### 4. 研修委託先

一般社団法人 減災・復興支援機構

### 5 研修内容及び結果

#### (1) 講義「避難所とは」

避難所の実態や配慮点など事例を踏まえた講義を受けました。  
ポイントは次のとおりです。



#### ○避難所対策の前提

- ・被災者が次の住居が決まるまでの間、**生活再建のスタート地点となる場所**
- ・最近の災害では、入所者の多くが高齢者
- ・大規模災害では、行政は災害の緊急対応で避難者数百人に対して派遣される職員は2～3人になることが多い。**市民の「自主運営・共助」が大切!**

#### ○要注意、災害関連死

- ・避難生活で感染症や持病の悪化などによる間接的な原因による死亡も多く、特に「**高齢者対策**」が重要!

#### ○避難所の運営の役割分担



## ○避難所対策のポイント

- 1)避難所は生活再建のスタート地点
- 2)健康維持に留意(「災害関連死」を防ぐ)
- 3)生活再建への意欲を持ってもらうために避難者による自主的な運営を目指す。  
(「共助」が不可欠)

できる限り個々の生活に配慮

## (2) ワークショップでは、以下の課題について参加者全員で考えました！

### グループ単位での避難所開設研修

- 課題1 学校図面を使い施設使用方法(部屋割り)を考える
- 課題2 入所時の注意事項作成
- 課題3 トイレの使用方法を考える
- 課題4 避難所の課題について考える



## (3) 体験訓練(希望者のみ) 8月20日(日)72名、27日(日)83名

参加者が体育館で実際に通路を歩く、車椅子に乗って移動する、寝るなどの体験をしました。

1. 「段ボールベット、間仕切りの作成」
2. 「居住空間の作成」
3. 「非常食体験」



## 【最後に】

参加者から充実した研修であったなどのご意見をいただいております。残暑厳しい中、ありがとうございました。また、研修会場としてご協力をいただきました県立野洲高等学校様には、多大なるご理解とご支援をいただき誠にありがとうございました。

市では、今後も実践に即した防災訓練を継続して実施して行きたいと考えております。今後とも市民の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

野洲市 市民部 生活安全課